


带状疱疹ワクチン予防接種費用一部助成のご案内

港区では、带状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部を助成します。
同封の予診票を持参して、港区実施医療機関で接種を受け、医療機関の接種費用と助成額との差額をお支払いください。助成を受けられるのは、生涯で1度のみです。

助成額	【生ワクチン】6,500円（生活保護受給者等 8,800円） 【不活化ワクチン】1回あたり15,000円（生活保護受給者等 1回あたり22,000円） 医療機関の接種費用と助成額との差額をお支払いください。
助成回数 スケジュール	【生ワクチン】1回 【不活化ワクチン】2回 2回目の接種は、1回目の接種から2ヵ月の間隔をおいて行います。 1回目の接種から2ヵ月を超えた場合であっても、6か月後までに行います。 ※ただし、带状疱疹に罹患するリスクが高く接種スケジュールを短縮することにより効果が得られると医師が判断する場合には、1回目の接種から2回目の接種までの間隔を1ヵ月まで短縮できます。 ※1回目の接種から6か月を過ぎた場合、2回目の接種について助成を受けることができません。
実施場所	区内指定医療機関 ※事前予約が必要です。 ※区内指定医療機関以外で接種する場合は、助成を受けられません。 ※医療機関ごとに接種費用や取り扱われるワクチンが異なります。  最新の医療機関一覧はこちらをご覧ください
持参するもの	・港区民であることがわかる物（マイナンバーカード、運転免許証等） ・带状疱疹ワクチン接種予診票

1 带状疱疹の症状について

带状疱疹は、水ぶくれをともなう赤い発疹やピリピリとした痛みが、からだの片側に帯状に現れます。痛みが徐々に増していき、日常生活や就労が制限されたり、夜も眠れなくなることがあります。日本人の90%以上は、子どものときにかかった水ぼうそうの「水痘・带状疱疹ウイルス」が体内（神経節）に潜伏していますが、加齢や疲労、ストレスによる免疫力の低下で、80歳までに3人にひとりが発症しています。発症した人のうち2割は、治ってからも辛い痛みが3か月以上続く带状疱疹後神経痛（PHN）になっています。

頭部や顔面に带状疱疹が出た場合、視力低下や失明、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る可能性があります。糖尿病やがん、新型コロナウイルス感染後遺症など、免疫力が低下する病気にかかったり、病気の治療のために免疫を消失されると発症しやすくなります。

2 接種に当たっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。

また、以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいます）がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ 現在、妊娠している場合（生ワクチンのみ）
- ⑥ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

3 予防接種の特徴と副反応について

	生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン） 販売名:ビケン	不活化ワクチン（乾燥組換え帯状疱疹ワクチン） 販売名:シングリックス																																																															
ワクチンの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○発症予防効果が中程度：発症予防効果は50～59歳で69.8%、60歳以上の方で51.3% ○帯状疱疹後神経痛の予防効果が中程度：60歳以上での帯状疱疹後神経痛予防効果は66.5% ○長期予防効果が低い：ワクチン接種後の予防効果は、1年目では67.5%、2年目には47.2%、8年目には31.8%まで低下 ○他の生ワクチン（麻しん風しんワクチン等）とは、27日以上の間隔をおくこと ○副反応の発現率が低い ○基礎疾患等により打てない場合がある ○接種料が安価で、1回接種のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ○発症予防効果が非常に高い：発症予防効果は50歳以上で97%、70歳以上で91% ○帯状疱疹後神経痛の予防効果が非常に高い：70歳以上での神経痛予防効果は85.5% ○発症を長期に予防する：50歳以上の成人試験で、10年以上は80%を超える有効性 ○副反応の発現率が高い：注射部位の腫れや赤み、発熱や頭痛などの発現頻度が多い ○接種料が高価で、（2か月後※から6か月以内）に2回接種が必要 ※ただし、帯状疱疹に罹患するリスクが高く接種スケジュールを短縮することにより効果が得られると医師が判断する場合には、1か月に短縮できる。 																																																															
接種を受けられない方	<ul style="list-style-type: none"> ○化学療法やステロイドなど免疫を抑える治療をしている方 ○免疫力が落ちている方（HIV感染等） ○妊娠していることが明らかな方 ○水痘ワクチンによる強いアレルギー症状（アナフィラキシーなど）を起こしたことがある方 ○カナマイシン、エリスロマイシン等の抗生剤にアレルギー反応を起こしたことがある方 ○明らかな発熱（通常37.5℃以上）がある方や急性疾患にかかっている方 	<ul style="list-style-type: none"> ○帯状疱疹ワクチンによる強いアレルギー症状（アナフィラキシーなど）を起こしたことがある方 ○明らかな発熱（通常37.5℃以上）がある方や急性疾患にかかっている方 																																																															
副反応の発生頻度	<table border="1"> <tr> <td>注射部位</td> <td>赤みや腫れ</td> <td>1-5%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>硬結等の注射部位反応</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>過敏症</td> <td>発熱・発疹</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蕁麻疹、紅斑、そう痒</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>皮膚</td> <td>発疹</td> <td>1-5%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水疱性発疹</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>丘疹、帯状疱疹</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>発熱</td> <td>1-5%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小脳運動失調（きわめて稀）</td> <td>頻度不明</td> </tr> </table> <p>※副反応は一般的に体の中で強い免疫をつくろうとするために起こると言われており、3-7日以内に多くの副反応は弱くなります。7日を超えて副反応が強い場合、医師に相談してください。</p>	注射部位	赤みや腫れ	1-5%未満		硬結等の注射部位反応	頻度不明	過敏症	発熱・発疹	1%未満		蕁麻疹、紅斑、そう痒	頻度不明	皮膚	発疹	1-5%未満		水疱性発疹	1%未満		丘疹、帯状疱疹	頻度不明	その他	発熱	1-5%未満		小脳運動失調（きわめて稀）	頻度不明	<table border="1"> <tr> <td>注射部位</td> <td>疼痛・赤み・腫れ</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>かゆみ・熱感</td> <td>1-10%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>注射部位反応・発疹等</td> <td>1-10%未満</td> </tr> <tr> <td>消化器</td> <td>吐き気・下痢・腹痛</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td>精神神経系</td> <td>頭痛</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>めまい・不眠症・眠気等</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>筋・骨格系</td> <td>筋肉痛</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関節痛・背部痛・首の痛み</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>感染症</td> <td>インフルエンザ・鼻咽頭炎</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>疲労・悪寒・発熱</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>倦怠感・痛み</td> <td>1-10%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無力症・食欲不振等</td> <td>1%未満</td> </tr> </table>	注射部位	疼痛・赤み・腫れ	10%以上		かゆみ・熱感	1-10%未満		注射部位反応・発疹等	1-10%未満	消化器	吐き気・下痢・腹痛	10%以上	精神神経系	頭痛	10%以上		めまい・不眠症・眠気等	1%未満	筋・骨格系	筋肉痛	10%以上		関節痛・背部痛・首の痛み	1%未満	感染症	インフルエンザ・鼻咽頭炎	1%未満	その他	疲労・悪寒・発熱	10%以上		倦怠感・痛み	1-10%未満		無力症・食欲不振等	1%未満
注射部位	赤みや腫れ	1-5%未満																																																															
	硬結等の注射部位反応	頻度不明																																																															
過敏症	発熱・発疹	1%未満																																																															
	蕁麻疹、紅斑、そう痒	頻度不明																																																															
皮膚	発疹	1-5%未満																																																															
	水疱性発疹	1%未満																																																															
	丘疹、帯状疱疹	頻度不明																																																															
その他	発熱	1-5%未満																																																															
	小脳運動失調（きわめて稀）	頻度不明																																																															
注射部位	疼痛・赤み・腫れ	10%以上																																																															
	かゆみ・熱感	1-10%未満																																																															
	注射部位反応・発疹等	1-10%未満																																																															
消化器	吐き気・下痢・腹痛	10%以上																																																															
精神神経系	頭痛	10%以上																																																															
	めまい・不眠症・眠気等	1%未満																																																															
筋・骨格系	筋肉痛	10%以上																																																															
	関節痛・背部痛・首の痛み	1%未満																																																															
感染症	インフルエンザ・鼻咽頭炎	1%未満																																																															
その他	疲労・悪寒・発熱	10%以上																																																															
	倦怠感・痛み	1-10%未満																																																															
	無力症・食欲不振等	1%未満																																																															

出典：生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン）添付文書（2022年1月改定（第3版））

不活化ワクチン（乾燥組換え帯状疱疹ワクチン）添付文書（2023年6月改定（第2版、用法変更））

4 女性への注意事項

妊娠している人又はその可能性がある人は、生ワクチン予防接種不適合者として接種することができませんので、出産後又は妊娠していないことが確認された後、適当な時期に接種を受けてください。接種に当たっては、接種を受ける医師へご相談ください。なお、接種後2か月間は、妊娠を避ける必要があります。

5 予防接種による健康被害救済制度について

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、極めてまれに健康被害の発生がみられます。

万が一、被接種者に健康被害が生じたときは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法と特別区自治体総合賠償責任保険に基づく救済の対象となる場合があります。

【問合せ】	帯状疱疹ワクチンコールセンター	03-6400-0094
	みなと保健所 保健予防課保健予防係	〒108-8315 港区三田一丁目4番10号
	電話 03-6400-0081	FAX 03-3455-4460